

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第26号 平成30年11月9日（金）
たきおっ子の生活信条：
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：60名
文責：（校長）河地浩太郎

「人権」について考えました ～ 学んだことを日常生活に ～

10月29日からの人権学習で、子どもたちは身近な人権問題や命の尊さ、そして歴史的な差別事象についてなど、さまざまな内容の学習をしました。また、11月2日（金）の公開授業も多くの保護者の皆さんに参観いただき、ありがとうございました。さらに昨日は、町の人権学習授業研究会を本校で行い、6年生の「渋染一揆の学習」を見ていただきました。

子どもたちは、学習を通じて差別することのおかしさに気づき、それをなくすにはどうしたらよいか考えました。今後は、学んだことを日常生活に活かし、笑顔あふれる滝尾小をきづいてほしいと思います。



入学まってるよ

～ 就学時健康診断を実施 ～

先週の木曜日（11/1）、来年度滝尾小に入学する9名（男子5、女子4）の子どもたちが、保護者の方とともに就学時健康診断にやってきました。図書室での日程説明の際は、やや緊張気味の新入児たちでしたが、5年生のお兄さんやお姉さんと遊ぶ頃には元気な声が聞かれました。入学まであと5カ月、もうそこまでやっています。今からとても楽しみです。

保護者の皆様には、お忙しい中に参加していただき、ありがとうございました。



「一つのことばで」（全校集会での話より）

一つのことばでけんかして
一つのことばで仲直り
一つのことばで笑い合い
一つのことばで泣かされる
一つのことばはそれぞれに 一つの命をもっている

上の詩は、詩人谷川俊太郎さんの「一つのことば」という詩です。今週の全校集会の時に、これを紹介して言葉の大切さについて話をしました。

大人もそうですが、私たちは言葉を介して人とのコミュニケーションを図っています。使う言葉、あるいは言葉の伝え方により、人と仲良くなったり、気まずい関係になったりします。人を大切するおもいやりのある言葉を使いたいものです。

おつかれさまでした 教育実習終了



10月15日から教育実習生として本校で学んでいた岩崎理菜さんの実習が本日終了しました。4週間という長い間でしたが、授業をしたり、子どもたちといっしょに遊んだり、とても熱心に実習に取り組まれました。本日、全校でお別れの式をしましたが、とても名残惜しかったです。

今後は、さらに勉強を積み、熊本県のすばらしい教員になってほしいと願います。

ご協力、ありがとうございました

10月に保護者の皆様にお願ひしました、学校の教育活動に対するアンケート調査（学校評価）へのご協力、ありがとうございました。集約した結果につきましては、今後保護者の皆様にお知らせするとともに、改善点や対策を検討し、下半期の教育活動に活かしてまいります。



「立冬」

校庭にある「あけぼのの木」が黄色く色づいてきています。また、その横の紅葉も色鮮やかになり、秋の深まりを感じます。暦の上では冬に入り、今年もだんだん少なくなってきました。教育活動の充実にさらに取り組んでいきます。

※ 算数コーナーは、今週も裏面にあります。

【算数コーナー】

※右下は、前号の答えです。